

基本賃金20カ月連続減

1月の毎月勤労統計
賃金総額
3カ月ぶり減

厚生労働省が18日発表した1月の毎月勤労統計調査（確報値）によると、基本賃金にあたる所定内給与は前年同月比0・2%減の23万8436円と20カ月連続で前年を下回りました。速報値では0・1%増とじていました。確報の段階では賃金が相対的に低いパートの割合が増えたことでマイナスに転じました。

労働者が受け取った現金給与総額は0・2%減の26万9203円と、3カ月ぶりに前年を下回りました。ボーナスに当たる「特別に支払われた給与」が9・6%減ったことが響きました。

所定内給与を業種ごとに見ると、生活関連サービスや、教育・学習支援、医療・福祉が軒並み下がり、製造業や運輸・郵便は上昇しました。残業代にあたる所定外給与は1万9303円と4・8%増えました。

2014年3月19日(水)

集団的自衛権容認に
「特別の危険」
山下書記局長が会見

日本共産党の山下芳生書記局

2014, 3, 25 NO, 650

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 862-7 0745-43-2415
吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 113-5 090-5257-4446
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
(事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

長は17日、国会内で記者会見し、「集団的自衛権の問題と旧日本軍『慰安婦』問題は切り離すことができない深い関係にあります。『軍性奴隷』制という戦争犯罪に正面から向き合い、反省することができない、なきものにしようとする勢力が『海外で戦争する国』をつくらうとするここに特別の危険があります」と指摘しました。

山下氏は集団的自衛権の問題点に関して、(1)日本が武力攻撃を受けなくても海外での武力行使を可能にする(2)憲法解釈を変えてそれを認めるのは立憲主義の否定になる―ことを強調しました。このなかでは、自民党の脇雅史参院幹事長が集団的自衛権の行使について「憲法9条と本質的に相いれない」とのべ、憲法解釈の変更による行使容認には自民党の元幹部や内閣法制局の元長官からも批判の声が上がっていることを示し、「立憲主義の否定を憂う人たちと力を合わせて行使容認を阻止するためにがんばりたい」と語りました。

山下氏はまた、14日に志位和夫委員長が「慰安婦」問題での見解を発表したことに内外から反響が寄せられていることにもふれながら、「日本の理性と良識を総結集して、歴史の教訓、憲法9条を踏みにじっての『戦争する国』づくりへの暴走にストップをかける国民的共同をいっそう発展させるために力を尽くしたい」と表明しました。

拉致解決のきっかけに

横田夫妻面会 山下氏語る

日本共産党の山下芳生書記局長は17日の記者会見で、北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの両親、滋さん、早紀江さんがめぐみさんの娘キム・ウンギョンさんとモンゴルで面会したことについて、「大変喜ばしいことだと思っています。私もうれしい気持ちになりました。今回の面会が拉致問題解決のきっかけになり、解決へと進むことを期待しています」と述べました。

2014年3月18日(火)

「いいとも」出演・安倍首相「悪政ごまかし笑っていいよ」
アルタ前抗議行動 東京・新宿

安倍晋三首相は21日、フジテレビ系列の番組「笑っていいとも！」に出演しました。司会のタモリこと森田一義さんとのトークで安倍首相は「笑いは健康に良い」などと述べました。同番組は3月末で終了予定で、終盤に出演するゲストが注目されています。

収録スタジオのある東京都新宿区のアルタ前では、秘密保護法の強行採決や4月からの消費税増税など国民を締め付ける安倍首相に対し、「笑ってる場合ではない」と約300人が駆けつけ、抗議の声を上げました。

フジテレビの日枝久会長と会食を重ねる安倍首相が同社の人気番組に出演したことに、東京都目黒区の男性(40)は「あからさまなメディア戦略だ」と批判。安倍政権が消費税増税や企業が派遣を「常用」できる労働者派遣法の改悪をねらっていることにふれ、「バラエティー番組に出て愛嬌(あいきょう)を振りまき、悪政をごまかそうとしている」と語気を強めました。

男性(45)は、妻と娘の3人で東京都豊島区から来ました。「安倍政権になって右寄りにどんどん行ってしまっている。人気の落ちていくのを取り戻したいと『笑っていいとも』に出演したのだからうがひどい。許せない。原発再稼働を推進しようとしているのががまんできない」と話していました。

西東京市の女性(66)は「本当は顔も見たくないのですが行動しないと好きなことをやらせてしまう。

諦めないで国民の声を上げ続ける」と声をからしていました

2014年3月22日 (土)

新しい視点 展望しめす

しんぶん 赤旗
日刊紙 毎月3,400円
口座振替 毎月1,000円

源泉徴収漏れ

三宅町で源泉徴収漏れがあったことが21日、22日に朝日、毎日、奈良新聞等で報道されました。

この源泉徴収漏れについては、3月議会の最終日に追加議案としていただきました。この議案は税務署に過去5年間分643万円(59件)と不納付加算税と延滞金53万円を先に税務署に納付するので補正予算として出されてきたもの。他府県でも同様な事例が出てきたため、桜井税務署は、担当自治体に調査を依頼し発覚した。

この議案に対して、本会議の場では、議員からの質問はありませんでした。事前に説明が議員にされたという事です。この問題は、以前から

同様の誤りを続けており、委託先である個人事業主の調査不足から発生したものでないでしょうか。本会議では、町長の謝罪もありませんでした。

643万円は個人事業主から後日町へ納入されたとしても、53万円は住民の税金から支出されるものです。しかも、643万円は町に全額返金される保証はどこにもありません。また、個人事業主がこの所得を確定申告していた場合は、二重納付となり還付請求しなければならぬ事態も発生します。住民に経過説明をし、今後の方針を明らかにすることが大事ではないでしょうか。

池田年夫



地球儀

皆さんは一日に何回ぐらい空を見ますか？

「お出かけの時「傘はいるかな？」と見上げる、農作業の段取りを考えて見上げる、また主婦は「洗濯物をいつ取り入れようかな」と見上げる、など大体の方が意外と生活に必要な時ぐらいしか空を見上げないのではないかな？と思ったのです。

忙しい現代人の事、空を長時間、じーと見つめている人はいないのでは。この前、私はふと、空を見上げるのではなく、反対に空から地球を見てみたいなーと思いました。どう考えても宇宙飛行士になるのは無理だし。そこで地球儀を買いました。

たまに見る世界地図は、丸い地球を無理やり平面

にしているのが陸地の面積や形が地球儀と全く違うことが分かりました。

やはり地球儀はリアルだなと感じると同時に、こんな大きな地球の針の先にもならないような場所まで生活している私は毎日何をあぐせくしているのだろうか。とちっぽけな事でよくよしたり悩んだりして自分を反省しました。

そして、最近地震活動が活動が活発になっていく日本、いえ地球規模ですがいつの日かこの世界地図も変わってしまうのだろうか？と想像してしまいました。この地球儀でもつと視野を広げていこうと思っています。

田原本議会議員

森 良子



予算成立

週末は温かったですね。今週も気温は高めで経過との事、桜の開花ももうすぐですね。

二十日、三月議会が閉じました。この日、今般提出の二十五議案が原案通り可決し、新年度予算が成立しました。審議を通じて、住民向け施策の充実のためにも、企業等の誘致を図りながら、そこから得られる税収を元に、全体に還元する事が町長の基本姿勢として窺えました。

取り組みとしては、唐院工業団地の整備を進めながらも、一方では、この『だより』でもお伝えしているように、子育て世代を中心に風疹ワクチン等の接種補助を手掛ける等、町単独での取り組みが見られます。こうし

国保税が値下げされました

先議会で、国保税の資産割が廃止されました。

提案理由は「県・市町村で国保制度の検討がされている状況を踏まえ、新年度は資産割を廃止いたします」わかりますか？現在ほとんどの市で資産割は廃止されています。

平成二十九年度に国保制度が町から県の制度に変えられます。それを見越して、市並みに資産割をなくすということですが、資産割をなくしても県下で十三番目ぐらいに国保税が高いそうです。資産割を廃止すると約三千二百萬円の減税となるそうです。今年度の決算見込みは約六千六百萬円の黒

字予想です。累積黒字と基金を合わせると六億円を超える余剰です。それだけ国保税を払い過ぎていくことになりそうです。

その一方で、差押件数五十九件、支払い能力なしと認められた件数は四百九十二件もあります。アベノミクス効果どころか国保加入者の暮らしは大変です。

川西町議会議員 芝和也



自治体の取り組みとは、皆さんが納めた税金の分配の見極めですから、その方向如何で暮らしに影響を及ぼします。私は、拡充策等を評価した上で、見極める視点の持ち方を指摘し、一般会計、国保会計、住宅資金貸付会計、水道会計の四議案には反対、他の二十一議案には賛成しました。

昨年十一月広島高裁判決を根拠に、預金残高すべてを差押さえるのではなく、生活費を残して差押するよう求めました。国保制度は、命を縮める制度ではなく、命を守る制度です。

田原本議会議員 吉田容工

